

富士重工業

本店：東京都新宿区西新宿一丁目7番2号

【商号履歴】

富士重工業株式会社（1965年～）

東邦化学株式会社（1945年12月27日～1965年）

【株式上場履歴】

<東証1部> 1966年3月10日～

<大証1部> 1966年3月10日～2003年2月8日（上場廃止申請）

<名証1部> 1966年3月10日～ 年 月 日（廃止）

【合併履歴】

1966年 月 日 **富士重工業**株式会社

【沿革】

当社は、旧中島飛行機株式会社を前身として昭和28年に設立され、その後当社に対する出資5社（富士工業株式会社、富士自動車工業株式会社、大宮富士工業株式会社、宇都宮車輛株式会社及び東京富士産業株式会社）を吸収合併し、昭和41年には額面株式1株の金額500円を50円に変更する目的をもって、東邦化学株式会社（昭和40年富士重工業株式会社と商号変更、東京都新宿区所在）に、東京都千代田区所在の富士重工業株式会社が吸収合併され現在に至ったものであります。会社の設立年月日の昭和20年12月27日は、株式額面変更のために合併を行なった合併会社（旧 東邦化学株式会社）の設立年月日であり、事実上の存続会社である被合併会社の設立年月日は昭和28年7月17日であります。

大正6年12月 故中島知久平氏が群馬県太田町（現太田市）に航空機の研究所を創設。

昭和6年12月 株式会社に改組し、中島飛行機株式会社と改称。

昭和20年8月 終戦にともない富士産業株式会社と改称。民需産業に転換し、スクーター、バス車体、鉄道車両、各種発動機等の生産を開始。

昭和25年7月 連合国の占領政策による指示に従って12会社に分割の上、それぞれ企業再建整備法による第二会社として発足。

昭和28年7月 第二会社のうち、富士工業株式会社、富士自動車工業株式会社、大宮富士工業株式会社、宇都宮車輛株式会社及び東京富士産業株式会社の共同出資により当社を設立し、航空機の生産、修理を再開。

昭和30年4月 上記5社を当社に吸収合併。

昭和35年10月 群馬製作所を開設。

昭和43年10月 **日産自動車**株式会社と業務提携。

昭和44年2月 群馬製作所・矢島工場が稼働。

昭和58年2月 群馬製作所・大泉工場が稼働。

昭和61年11月 台湾ベスパ社との間で合併による新会社設立と現地生産に関する協定に基づき大慶汽車工業股?有限公司を設立。

昭和62年3月 **いすゞ自動車**株式会社と米国における共同現地生産に関する合併契約に基づきスバル・いすゞオートモーティブ インク（現・連結子会社）を設立。

平成2年8月 米国における販売会社スバル オブ アメリカ インク（現・連結子会社）を買収。

平成7年4月 埼玉製作所（北本市）を新設。同年10月に大宮製作所の業務を移管。

平成11年10月 中央スバル自動車株式会社を吸収合併し、新たに東京地区の販売店として東京スバル株式会社(現・連結子会社)を設立。

平成11年12月 ゼネラルモーターズコーポレーションと資本提携。

平成12年4月 **日産自動車**株式会社との業務提携を解消。

平成12年9月 **スズキ**株式会社と業務提携。

平成14年4月 台湾ベスパ社との現地生産に関する協定を解消。

平成14年12月 **いすゞ自動車**株式会社と米国における共同現地生産に関する合併契約を解消。

平成15年1月 上記に伴い、スバル・いすゞ オートモーティブ インクを完全子会社化し、スバル オブ インディアナ オートモーティブ インク（SIA）へ社名変更。

平成15年3月 鉄道車両事業の終了及びバス事業における新車生産の終了。

平成16年4月 ハウス事業を富士ハウレン関東株式会社（現・富士ハウレン株式会社）へ営業譲渡し分社化。

平成16年8月 輸送機工業株式会社を簡易株式交換により完全子会社化。

平成17年10月 ゼネラルモーターズコーポレーションと資本提携を解消。

平成18年3月 **トヨタ自動車**株式会社と業務提携。

平成18年5月 **富士機械**株式会社を完全子会社とすることの株式交換契約を締結。

平成19年5月 株式会社**マキタ**による**富士ロビン**株式会社の株式公開買付けに対し、全株を売却